

補遺-3 (N 石巻市牡鹿町新山浜地区) 2012年3月9日(金)

報告者名	山口未花子	被調査者生年	1951年(男)
調査者名	山口未花子	被調査者属性	神職
補助調査者	なし		

インフォーマントは牡鹿半島の鮫浦浜から富貴浜、及び田代島、網地島の神事を担当する神職である。この地域の神事と被災後の状況について、管轄するすべての地区についての聞き取りを実施した。

鮫浦浜

祭は年に1回行われていた。日程は、旧暦では3月17日だったが(彼岸なので)、10年前くらいから3月の第2土曜日にやるようになった。祭に併せて漁協が「浜祭り」をおこない浜で大漁祈願をする。

津波により集落がほとんど全壊した。浜の両端2軒だけが残ったがこれも取り壊しとなり、今は1軒も残っていない。4名が亡くなった。浜の人の多くはいま廃校になった大原中学の敷地にたてられた仮設住宅で暮らしている。

これだけの被害がでたので、2011年には祭はできなかった。しかし今年は4月17日に祭りをやるということで、24名の連盟で神事を頼まれた。神社もかなり壊れたが、ボランティアの人たちががれきを撤去し、修繕もしてくれた。

大谷川浜

旧暦では3月8日に祭をおこなっていたが、震災前は2月第4日曜日に行われていた。ただし神職が神事を行うのでなく集落のひとたちでお祓いをするという程度。

震災で大谷川浜は一軒も残らなかった。でも死者は0だった。それでも2011年は祭りが行われなかったし、2012年もやられる気配はない。

谷川浜

谷川では八幡神社で旧暦の8月15日にお祭りを行って来た。今は9月の第二日曜日にやられる。土曜日が前夜祭で、みんなで集まって獅子舞などをする。本祭では祈願と直会が行われる。

津波で家は1軒しか残らなかった。20名が亡くなった。そして部落の解散が決まった。それでも2012年の1月2日にも生活センターで獅子舞が舞われた。獅子頭などもすべて流されたが、日本財団からの寄付で新調した。また、2011年度のお祭りは行われなかったが、2012年度はまだわからない。神社も相当な被害を受けたが、ボランティアの人たちが参道を直してくれた。

泊浜

2月8日に「みちあいの祭」を行う。神事としてこの行事をやっているのは泊だけ。

基本的な行程は、お人形様を作って村を回って1年の穢れをはらう。この際、道の村境の箇所横に柱を建てて、しめ縄を張る。その両脇外側には、カチの木を立てる。カチの木にははらいどのの大神が、柱の表には月日が記入されている。これを「みちきり」という。昔は村境6か所でやっていたが、今は一か所になった。また、昔は子供たちも参加した。祭りの最後に、お人形様を車で森の中に運んでそこにおいておく。

みちあいの祭は2012年度も行われた。

旧暦の5月15日には、山王島の手前にある山王神社でお札を焚き、地域の人だけで祈祷をする。

昔は旧暦の10月14、15日に祭りを行っていたが今は10月の第2日曜日に開催している。この祭りでは3年に1回神楽を行う。神楽は神社に奉納されたあと、リクエストの合った家を回る。

新山浜

2月9日にお人形様という行事を行う。

10月27日、28日には火祭りを行う。

新山は今も昔と同じ日に祭りを行っている。

鮎川浜

旧暦9月9日、現在はその前後に熊野神社のお祭りがある。

また最近のお祭りとしては昭和28年からくじら祭がおこなわれるようになった。鯨供養や古式捕鯨の復元、花火大会などの演目がある。鯨供養は昔は浜に会場を作って行われたが、2、3年まえからはお寺（陽山寺）で行われるようになった。

震災後、鮎川では一度もお祭りは行われていない。

十八成浜

十八成（クグナリ）の名前に由来は、十八成浜の砂浜の砂が「くくっ」と鳴るから、という説、川を挟んだ9平米ずつの土地から成っているからという説などがある。

十八成のお祭りは、5月3日、白山神社で行われる。2日は前夜祭で公民館（生活センター）で大払いをおこない、そのあとみんなで祭りの準備をする。祭りは集落の全員が参加して行われる。集落は3つの班に分かれており、当番に分かれて担当の準備をする。本祭で撒く餅をついて丸めるなど。本祭では神事と神輿を行いそのあとで直会を行う。この際セミプロをよんで演芸会を行う。

2011年の5月3日にも復興祭として、祭がおこなわれた。演芸会などはなしで、神輿もがれきが危なかったので集落を回ることではできなかった。

小淵浜

1月3日、4日に獅子舞をする。この時御神木に祝詞を書いたものと一緒に、各家を回る。大原浜の御神木祭と似ている。最後には御神木は神社へ奉納する。昔は5日までかかったが今は日数が減ってきている。

旧暦5月15日、現在は6月15日前後にお祭りをやる。前夜祭で神事をおこない、本祭で神輿をかつぐ。

2011年には復興祈願を兼ねて祭りをおこない、神輿も出た。ただし前夜祭は省略した。

1月、3月、10月の10日には金毘羅講をする。講の時にはみんなが競うように米やお金をもちよる。2、3年に1度は金毘羅さんへ行く。

震災の後、昨年は10月だけ実施した。2012年1月、3月はやっていない。

小淵では金華山を対象とするみまつ講のほか秋葉神社（静岡）を崇拝する秋葉講というのものもある。

給分浜

山形に本社がある羽黒神社のお祭りが旧暦の12月28日に行われていた。今は3月の第1日曜日におこなう。2012年は3月4日に家（宮司さんの）で直会をした。16人～20人くらい集まった。

旧暦の5月5日には鳥羽神社で大漁祈願を行う。

御神木のお祭りもある。

大原浜

昔は漁師の集落だったが、今はサラリーマンが多い。旧大原村の中心で、役場もあり栄えていた。そのため、神

社の絵馬もとても大きい。

2月11日の御神木祭を行う。御神木を山車にのせて集落を引き回し、御神木を海につけてこれを網元ごとに作る組で取り合いをし、とった組が大原と給分の境にある木に収める。今は御神木を海につけて神社に納める。

2012年にも実施された。

旧暦6月14日には夏祭りが行われる。前夜祭で神輿を担ぐ。

小網倉

1月2日初兎の日に神明社のお祭りがある。

また、旧暦の6月14日頃に夏祭があり、神社のみで神事を行う。前夜祭は行う。

昔神楽をやっていた。牡鹿地区では唯一自前の神楽をもっていた。昭和50年ころまでは小網倉分校跡地でやっていたが、その後下火になっていった。たまにくじら祭で舞ったりしていた。

今回の津波で神楽の道具も全部流されてしまった。

福貴浦

二渡神社というスクナヒコを祀る神社でお祭りがある。だいたい3月の第2土曜日に行う。昔は2月に行っていたが、牡蠣剥きの最盛期に重なるので3月に延長した。このお祭りには狐崎の人々を招待する。狐崎のお祭りでは逆に福貴浦の人々を招待する。

今年は3月10日に予定している。2011年は3月12日に予定していたが出来なかったので、6月に復興祈願祭を行った。

田代島

田代島には2つの集落があるが大泊では、昔は春祈祷で、一戸ごとに神職が回った。今は1月9日（前後）の日曜日に本祭と祈祷を一緒にする。2012年はお祭りはなかった。大泊の集落はもともと14世帯くらいと少なかったのが震災によって5世帯くらいになり、祭の維持は難しいだろうと思う。

もうひとつの集落、二斗田では大泊と同じ日に春祈祷を行っていた。前の宮司の代では一軒ずつ回っていたが今は行われていない。

旧9月9日前後の土日に前夜祭と本祭がおこなわれる。昔は神輿も出したが今はない。

二斗田は遠洋漁業従事者が多く、船主も多かった。現在でも3人いる。そのため、お祭りはとても賑やかに行われる。前夜祭で行われる演芸会の様子をビデオに撮って遠洋の船に送ったりしていた。神社（稻荷神社）も船主が半額出して建立した。

田代島の獅子舞は、牡鹿地区の他の地域のものとは全く違う。舞台上で奉納する。

田代島と網地島はもともと島流しの流刑地だったが、特に田代島は政治犯など刑が軽い、上流の、あるいは学のある人の集まる場所だった。そのことが関係しているかもしれない。

網地島

網地にある二つの集落のうち網地集落では、熊野神社の祭が10月9日に行われる。この浜は昭和30年代には小学校の生徒が300人くらい、150戸ほどの規模だったが今は80戸くらいに減った。それでも船主が今も3、4人はおり、神社も総ヒノキ作りの豪華なものとなっている。

2011年のお祭りは震災の影響で中止することになった。

網地島のもう一つの集落、長渡浜（ふたわたしはま）では旧暦3月15日前後の土日に鳴神社という京都の下賀茂神社の分社で祭がおこなわれる。前夜祭で祈祷を行い、演芸会もする。ただし2011年は実施できなかった。